（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス　アトリエたいよう			
○保護者評価実施期間	令和７年　３月　６日	～	令和７年　３月　１５日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	27	（回答者数）	21
○従業者評価実施期間	令和７年　３月　６日	～	令和７年　３月　１５日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	7	（回答者数）	7
○事業者向け自己評価表作成日	令和７年　３月　２４日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども達にとって安心して楽しく過ごせる居場所となっている。	ルールだらけの学校に行くだけでとても疲れてしまうような児童が多い中、アトリエたいようでは基本的に自由に主体的に過ごしてもらっている。学校で疲れて背負ってきたものをしっかり下して発散して帰ってもらえるよう、一人一人に寄り添い労いながら支援をしている。	学校での過ごし方や生きづらさをアセスメントし、より合理的配慮がなされるよう、学校との連携を強化していく。
2	長時間預かり型で保護者のレスパイトに役だっている。 人員の配置も他事業所に比べてスタッフの数が多いので、保護者も安心して預けることができる。	土曜日や長期休みの期間には夜１９時まで最長６時間預かっている。各家庭の都合に合わせて好きな時間帯に来所可能なように人員の配置を行っている。	理想は大人と子供の比率が１：１の状況で集団活動ができること。ボランティアスタッフの受け入れ等も強化していきたい。
3	室内遊具が豊富で、雨の日でもたくさん感覚統合運動や体を動かす遊びができる。	室内遊びでも感覚統合刺激がたくさん取り組めるよう、トランポリンやバランスボール、ハンモックやブルブルマシーンなどの遊具が充実している。	安全に、より大人数で同時に行うことができる遊具などを購入したい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	学習や宿題の支援等、極力ご家庭の要望に対応はしているが、基本的な方針が本人がやりたいと思った事を主体的に意思決定してやってもらっているため、強制的に何かをさせる事はしないので、保護者の意向に添えない事がある。	保護者にしっかりその時の児童の状態や状況を伝え、支援の目的や意図などを明確に伝える。	事業所の方針や特色をより明確に契約前にお話しする。 HPやパンフレット等で可視化して理解しやすい工夫をする。
2	保護者会や保護者向けのイベントを行ったことがない。	これまで要望等も無かったため、なかなか取り組めずにいた。 保護者全員が参加するには事業所のスペースは狭すぎる。	大きな会場を借りるか、何回かに分けて開催する。 保護者にどのようなイベントを開催して欲しいかを聞き取る。
3	コロナ以降大きなイベントや遠足などがなかなかできていない。	クリスマス会やハロウィンパーティー等、毎回同じような内容になってしまっている。 遠足の機会が減っている。	児童にパーティーや遠足の主催をお願いし、係なども有志で行ってもらい、内容もそれぞれにやりたいことを提案してもらう。